令和６年１２月４日

報 道 機 関　各位

「“遊び”でつながる三日曽根公園」について（ご案内）

地域連携推進機構地域連携戦略室では、「高齢者の交流機会をつくる」、「地元公園の新たな使い方を探る」ことを目的とした社会実験の一環として、「“遊び”でつながる三日曽根公園」と題した地域住民の交流イベントを開催します。

なお、今回の企画・運営は地域の民間事業者によるチーム（「公園ゲリラ」という）が担っており、「地域の民間事業者が公園管理に携わる条件を探る」ことも目的としています。

今後、このような取組に賛同する仲間を増やしていきたいと考えておりますので、取材・報道方宜しくお願い申し上げます。

記

■名称　：“遊び”で繋がる三日曽根公園
■日時　：令和６年１２月８日（日）　１１：００～１５：００　※雨天中止
■場所　：三日曽根公園（射水市三日曽根１６－１）
■主催　：公園ゲリラ（代表：富山大学地域連携推進機構地域連携戦略室　塩見）

【本件に関する問い合せ先】
富山大学　地域連携推進機構　地域連携戦略室　塩見　TEL. 076-445-6960

PARK GUERRILLA PRESENTS

“遊び”でつながる三日曽根公園

Let's play at Mikkasone Park!

2024.12.08(日) 11:00-15:00

@富山県射水市三日曽根16-1

※中止の場合は12月7日12時までにFacebookでお知らせいたします。

●こんな方にオススメ
昔の遊びが懐かしい方
昔の遊びを子ども達に教えたい方
昔の遊びをやってみたい方
公園で遊びたい方
公園でほのぼの過ごしたい方
etc.

伝承遊び

コマ回しや竹馬、けん玉、凧あげ、羽子板など、昔ながらの遊びを通じて、世代を超えた交流を楽しみましょう。シンプルながらも奥深い遊びを体験できます。シニア世代は童心に返って、子どもたちは新鮮な遊びとして、それぞれの発見があるかもしれません。伝承遊びのコツをシニア世代から教わることで、世代間のコミュニケーションが生まれます。また、バドミントン・ホッピングなど、子どもに人気の遊びも用意しています。

クリング体験

クリングは、富山で生まれた新しい形のスポーツです。面ファスナーがついたボールを相手にくっつけけて遊びます。ルールがわかりやすく、柔軟に変更でき、年齢や体力を問わず盛り上がることができます。

焚き火で暖まろう!

寒い季節なので焚き火で暖を取れるように焚き火をします。焼き芋やマシュマロなどを焼いて楽しみましょう。

主催:公園の魅力を引き出す民間集団 公園ゲリラ　協賛:クリング協会(LeadDesign株式会社内)、ミヤワキホーム

富山大学 学術研究部 教育研究推進系(地域連携推進機構 地域連携戦略室)　講師 / 博士(工学)　塩見一三男 Isao SHIOMI
〒930-8555 富山県富山市五福3190　電　話:076-445-6960(090-1995-3708)　メール:shiomi@ctg.u-toyama.ac.jp
メンバー(五十音順) 泉栄 謙吾(高岡まちなかスタートアップ支援施設TASUコーディネーター) 鵜川 涼(富山大学) 木村 嘉宏(Lead Design 代表取締役) 佐野 泰寛(射水市)
南 秀和(イヌグラシ代表) 南 春樹(SHINeON 代表) 宮脇 友基(ミヤワキホーム代表取締役社長) 吉河 恵子(楽読速読インストラクター) 吉川 圭太(DERA-DESIGN 代表)

公園ゲリラ
公式Facebookページ

公園ゲリラとは

Copyright (c) Isao SHIOMI

公園ゲリラとは

- 公園が地域に役立つ社会を目指します。
- 公園の使い方をupdateして公園のポテンシャルを引き出します。
- 現在はあまり使われていない公園でゲリラ的にイベントを行います。
- 公園ゲリラのメンバーは地域の民間事業者や市民です。
- メンバーにもメリットのある活動を目指します。
- 公園ゲリラのような取組が全国に広がることを歓迎します。

Copyright (c) Isao SHIOMI

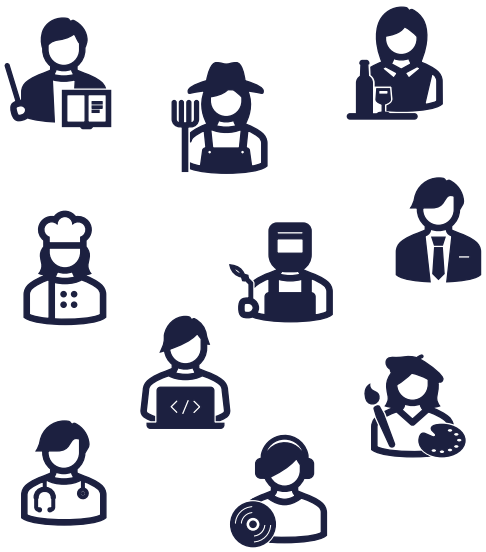
公園ゲリラとは

インフラ
有効活用

公園
ビジネス

志を同じくする**地域**の様々なプレイヤーによるチーム

<公園ゲリラ>



Copyright (c) Isao SHIOMI

ミッション・ビジョン・バリュー

ミッション～公園ゲリラの使命

Update Parks
民間のチカラで都市公園の魅力アップ

ビジョン～公園ゲリラが創りたい未来

公園が地域に役立つ社会

バリュー～公園ゲリラの活動指針

民間が参画するメリットをつくる
地元の民間が中心となった活動とする
ポテンシャルが発揮できていない公園で活動する
活動からの気づきは惜しみなくシェアする

Copyright (c) Isao SHIOMI

メンバー

■代表
塩見 一三男(富山大学 地域連携推進機構 地域連携戦略室 講師）

■メンバー（五十音順）
泉栄 謙吾（高岡まちなかスタートアップ支援施設TASU コーディネーター）
鵜川 涼（富山大学）
木村 嘉宏（Lead Design 代表取締役）
佐野 泰寛（射水市）
南 秀和（イヌグラシ 代表）
南 春樹（SHINeON 代表）
宮脇 友基（ミヤワキホーム 代表取締役社長）
吉河 恵子（楽読 速読インストラクター）
吉川 圭太（DERA-DESIGN 代表）

2024年11月時点

Copyright (c) Isao SHIOMI

「ゲリラ」の名称を使う理由

- 「ゲリラ」という言葉は，戦争や紛争を連想させることから，ネガティブな印象を持つ人も少なくありません。しかし，私たちはこの言葉の持つ別の意味を重視しています。
- 「ゲリラ」という言葉は，本来「小規模で機動力のある作戦」を意味します。私たちの活動も，まさにそのような精神を持っています。大規模なプロジェクトや長期的な計画に頼らず，地域のニーズに迅速に対応し，小回りの利く行動で都市公園に変化をもたらしたいと考えています。
- 私たちの活動は，地元の民間企業や住民の協力を得て，短期間で実施できる公園の新たな使い方に繋がるイベントを企画・実施することです。これにより，公園の隠れた魅力やポテンシャルを引き出し，地域社会全体の活力を高めることを目指しています。
- 「ゲリラ」という言葉をあえて使用することで，私たちの迅速かつ柔軟なアプローチを象徴し，地域社会の発展に寄与する意志を示しています。ネガティブな印象を持つ方々にも，「ゲリラ」の言葉に込めた私たちの思いを理解いただき，「公園ゲリラ」の活動を応援いただければ嬉しい限りです。
- 「公園ゲリラ」という名称は，私たちの活動の本質を表し，公園の魅力を最大限に引き出すための象徴として使用しています。

Copyright (c) Isao SHIOMI